

※度会郡の4町（玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町）と多気郡大台町の5町が連携し、(特)三重県子ども NPO サポートセンターに委託してファミリーサポート事業を実施しています。

## ◎インフルエンザ・ノロウイルスの流行の季節になりました。

**インフルエンザの予防接種、手洗いうがいの奨励、マスクの着用、空気清浄器の活用、ノロウイルス用の消毒スプレーも市販されていますので備えておくといいかもかもしれませんね。**



## 会員の声



子育ては楽しいですか？楽しいだけじゃない、大変なことはたくさんありますよね。私も嫁いできたばかりで、周囲に友人はいない状態で長男を育て始めました。育児の不安やストレスを抱えているときに声をかけてくれたのは、大台町の先輩ママ達でした。離乳食教室・乳幼児相談に参加するようになり、子育てサークルや支援センターに通うようになりました。長男が1歳の時にママ友達とサークル代表になりました。ファミリーサポートの講座もママ友と支援センターの先生に声をかけていただきました。講座内容は充実していて、子育てにも新しい知識を得られました。提供会員に登録の時に次男を妊娠。実際は提供会員の実施にはいらず、依頼会員のままです。マッチングも体験しました。とても安心したのを覚えています。

大台町には各サークルが主催する行事がたくさんあります。サークルの代表をしてくれるママ達があります。会議や準備も子ども連れて、大変なはずなのにみんなイキイキしています。そして支えてくれるボランティアさんや素敵な先輩ママ達や支援センターの方々があります。養育の義務は親にあります。でも子育てはたくさんの方の手を借りていいと思うようになりました。私もたくさんの方の手を借りてきました。少しでも恩返ししたいと思いファミリーサポートの提供会員に登録をし、サークル代表をしています。大台町には手を貸してくれるたくさんの方々があります。いろいろな方の手を借りて子育てを楽しんでみませんか？ファミリーサポートもまた、子育ての強い味方になっていただける方がたくさんみえますよ。いかかですか？気軽に声をかけてみてください。

大台町両方会員：伊藤ひで子



私は頼れる身内が近くにおらず、ファミサポが玉城にできた時にすぐに依頼会員として登録しました。

最初は何かの時のお守りのような気持ちでした。

面接で、提供会員さんの人柄に触れ、我が家の子育てを応援して下さる方ができたことを心強く思いました。

その後は、私自身が体調を崩すなど、子育てをしていく中では思いがけないことも起こりましたが、ファミサポに本当に助けられました。登録しておいて良かったと何度も思いました。

下の子どもが保育所に入所した時に、(今度は私がどなたかを少しでもサポートできればいいなと思い、)提供会員養成講座を受けました。カリキュラムをみて、こんなにも長い時間受けられるだろうか...と不安でしたが、終わってみればあっという間でした。(子どもの都合で、一度にすべてを修了することはできませんでしたが、別の所で補うことができたのも良かったです。)

自分の子育てにも生かせる内容で意義深い講座でした。堅苦しくなく楽しい雰囲気でした。同じ建物の中で無料で託児をしてもらえたのもありがたかったです。少し子どもと離れたところで、子どものことについてじっくり学ぶという機会はなかなか無く、新鮮な気持ちでした。

私が受講している間、子ども達は提供会員さんのサポートのもと、楽しく過ごしたようでした。初めて会った他の受講生のお子様とも仲良くなり、次の講座を楽しみにしている程でした。子どもにとっても良い経験となったようで、親子共々、良い時間を過ごさせていただき、感謝しています。



学んだことを振り返りながら、安心・安全を提供できる会員を目指し、努力していきたいと思っております。  
玉城町両方会員：K.M.



4年前に両方会員として登録させて頂きました。当時、子育て真っ最中で時間に余裕も無く4日間の講座は無理だろうと思っていましたが託児もあると聞き、子育ての勉強になればと子ども達を連れて養成講座に参加しました。長時間の講義の間、子ども達の事が気になりましたが別室で提供会員さんと楽しく過ごしている様子で安心して講義に集中する事ができました。講義では食育、心、身体の発達、応急処置等各項目は（あるある）と頷く事ばかりでもっと早く受講できていればと思うほどでした。講義の中で「子育て」反抗期はおめでとうなんだよ！と講師の方の言葉が今も胸の中に残っています。母としてサポーターとして養成講座で沢山の事を学ばせて頂きました。

今年に入り提供会員として活動させて頂く機会が増えました。両方会員としてファミリーサポート養成講座をもっと沢山の方に知っていただき子育て中の方にも関心を持っていただけたらと思います。  
度会町両方会員：N.S.



私の子育て中にお世話になった方から、ファミリーサポートの話を教えてもらい、自分の子育てに役に立てられればいなあと、提供会員養成講座に参加させて頂きました。

最初一人では何か心細いなあと感じていたのですが、いざ会場に行ってみると、私と同じく子育て中の方や、お孫さんのためにと町内や、町外からもたくさんの方が見えていました。

4日間の講座はあっという間に過ぎ、とっても勉強になる事が多く、自分の子育ても、もう一度見直すことができました。いい経験になったと思います。

南伊勢町は依頼が少ないのですが、条件さえ合えば地域で子育てを頑張っているお母さんのサポートができればいなあと感じています。  
南伊勢町提供会員 K.A.



大紀町であった今回の養成講座は、受講して頂けそうな方に声かけしましたところ「ファミリーサポートって何？」って言われるので、サポート事業の説明をしました。「難しそうやなあ。私に出来るかしら？」など不安気な返事が殆どでしたが、受講後「いい講座受けさせて頂いた。本当に自分の為になったわ。自分の孫に対しても見る目が変わったわ」と言われる感謝の言葉ばかりでした。

大紀町も益々少子高齢化を迎え、こどもは文字通り町の宝です。私の近所の90歳になるおじいちゃん宅へ、すぐ隣の借家に住んでいる若い夫婦の子どもさんが、よく遊びに来ていて慣れ親しんでおります。可愛いので、いつもお菓子を用意してあげています。最近、家を新築されたので、周囲は賑やかになり大歓迎です。

また、祖父母が近くに住んでいる家庭が多いため、保育所の送迎、学童の迎えなど、両親が間に合わないときは、助けて貰っている事が多い様です。この様に本来なら周囲の地域ぐるみでの子育て支援が望ましいですが、それが出来る地域ばかりではありません。仕事で遠い所から引っ越ししてみえ、空き家を借りたり、町営住宅、アパートに入って見える方も増えてきました。

ファミリーサポート事業を大紀町は利用される方が少ないと聞いておりますが、まだまだ利用したい方が沢山いらっしゃると思います。小さいお子さんの預かりだけでなく、送迎、病児・病後児、緊急預かりなど事業の内容が、まだまだ広く浸透していない様に思われます。それには、もっとも沢山のの方に受講して頂き、お母さん方が困っている時、気軽に利用出来る様、提供会員を増やすことが必要だと思います。  
大紀町提供会員：出馬澄子

## 平成28年度提供会員養成講座開催予定

ファミリー・サポート事業として、提供会員さんの活動は少ないのですが、地域で子育て中の方や子ども達に温かい目を向けて頂く人が増えればいなと考えています。地域の多くの方に少しで





も声掛けをして頂き、子育てしやすい地域になればと思います。  
 周りのお友達に養成講座を受けて頂くようお願いください。(託児は無料です。)  
 日程：28年5月21日(土)・22日(日)・28日(土)・29日(日)  
 場所：玉城町

## 全国講習会・交流会



10月1日、平成27年度ファミリー・サポート・センター全国アドバイザー講習会に参加しました。今回のテーマは「発達障害のある子どもの援助活動の基本」でした。発達障害とは、生まれつきの脳の機能の違いによる能力の偏りによる障害で、親の育て方や環境によるものではありません。全国のファミサポ活動実態調査結果から、全国のセンターの8割が障害をもつ子どもの援助を実施していて、援助の内容では「送迎」が多く、預かる子どもの障害は「自閉症スペクトラム障害」「知的発達障害」「ADHD」で全体の8割になり、小学校低学年が約6割だということです。

子どものこだわり・かんしゃく・他害・自傷などの外から見える行動に対応するのではなく、「なぜ、その行動が起きるのか」という視点から対応することが大切だということです。例えば、提供会員の出したお茶を「まずい」と言って飲まないA君がいたとします。A君は家のお茶しか飲めない子だったので、「このお茶、味が違う」「いつもの味がいい」「家のお茶が飲みたい」という思いが「まずい」という言葉に出たと考えられます。しかし、「まずい」に反応してしまうと、A君の気持ちは理解できず、違う対応になってしまいます。子どもの行動には必ず理由があるので、指示・命令・禁止の声かけを具体的・視覚的・肯定的な表現に変換してやる必要があるのだそうです。また、親を理解することも大切で、障害のある子どもをもつストレスや、障害を受けとめることにも気持ちが揺らぎます。

アドバイザーとしてその子どもに合った援助をするために、入会面談やマッチングで、丁寧に家での子どもの様子を聞いたり、実際に子どもをよく見ること、親とよく話し合うことが大切だと思いました。  
 アドバイザー：塩谷明美

## 10月末までの各町の状況



	依頼会員	提供会員	両方会員	計	活動累計
大台町	53	47	8	108	0
玉城町	109	52	6	167	80
南伊勢町	11	12	1	24	2
大紀町	13	27	1	41	0
度会町	23	13	2	38	2
計	209人	151人	18人	378人	84件

こんな内容で利用されています！！

- ・保育所や学童への送迎
- ・病児保育エンゼルへの送り
- ・お母さんの休養、仕事、外出のための一時的な預かり
- ・習い事への送迎 など



《みんなネットニュース 2014年10月号より引用》

## 「ニュージーランド子育て支援視察」②



◆9月20日～25日／◆主催：三重県子どもNPOサポートセンター

クライストチャーチでは、“Kiwi Kids Preschool”と“Canterbury Plunket Centre”を訪問しました。

“Kiwi Kids Preschool”は私立の保育園で、3ヶ月から5才までの子どもが対象で、月曜日～金曜日の7:00～17:30の間、開園しています。



この保育園は私立ですので、政府からの補助金と親の負担金で賄われています。  
 但し3歳以上の子どもには、週に20時間分の国からの補助金が出ますので（高額所得者は除く）、  
 親はそれを使い、残りの分を負担しているとのことです。  
 フルで預かってもらう場合、食事を含め週に250ドル必要ですが、この制度を使うと、50ドルくらいになるそうです。

延長保育の質問をしましたが、ニュージーランドでは、正規雇用者で週に42時間～44時間の労働時間ですので、考えられないとのことでした。

この保育園もそうですが、ニュージーランドの子どもの保育と教育は国が定めた「テ・ファリキ」というカリキュラムのもとで、行われています。このカリキュラムで行わないと補助金が出ません。「テ・ファリキ」とはマオリ語で経糸と横糸が織りなす＜織物＞を意味しており、4つの原則と5つの要素から成り立っています。

<原則>

1. ENPOWERMENT (エンパワメント)
2. HORISTIC DEVELOPMENT (全人的教育)
3. FAMILY AND COMMUNITY (家族と地域社会)
4. RELATIONSHIPS (関係性)

<要素>

1. WELLBEING (幸福・安全)
2. BELONGING (所属)
3. CONTRIBUTION (社会貢献)
4. COMMUNICATION (伝達)
5. EXPLORATION (探究心)

この「テ・ファリキ」のカリキュラムをもとに子どもの興味を大切にしているとのことで、日々それぞれが自分の好きなことをして遊びます。また、外でナチュラルな環境で遊ぶことを大切にしており、乳幼児・2～3歳児・4歳～5歳児それぞれに専用の広い庭がありました。(つづく)

(秋山)

親子で楽しい絵本コーナー



秋の夜長、ゆっくり時間をとって、お子さんと絵本を読んでみませんか？

「早くしなさい!」と言う事が多いと思いますが、クスッと笑いながら、人それぞれの速さがあるを感じ取りただける本です。



みえ子育て支援・緊急サポートネットワーク

❁南勢志摩地域センター (玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町ファミリー・サポート・センター)

TEL&FAX 0596-23-3938

〒516-0037 伊勢市岩渕2丁目3番13号 NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク内

❁多気郡地域センター (大台町ファミリー・サポート・センター)

TEL&FAX 0598-22-1950

〒515-0084 松阪市日野町788カリヨンビル1階 (特定非営利活動法人 松阪子ども NPO センター内)

